



## 平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス

コード番号 3063 URL <http://www.jgroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 赤工 朝飛

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日

配当支払開始予定日

平成26年10月31日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	6,701	21.1	63	—	52	—	6	—
26年2月期第2四半期	5,532	15.5	△39	—	3	△88.9	△14	—

(注)包括利益 27年2月期第2四半期 11百万円 (—%) 26年2月期第2四半期 △27百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	0.87	0.87
26年2月期第2四半期	△2.09	△1.99

(注)当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますので、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	8,854	2,037	23.0	254.41
26年2月期	7,706	2,030	26.3	253.92

(参考)自己資本 27年2月期第2四半期 2,034百万円 26年2月期 2,030百万円

(注)当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますので、1株当たり純資産につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	500.00	—	1.00	—
27年2月期	—	1.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	1.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。平成26年2月期第2四半期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	18.2	220	—	236	—	89	—	11.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期2Q	8,196,400 株	26年2月期	8,196,400 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年2月期2Q	200,000 株	26年2月期	200,000 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期2Q	7,996,400 株	26年2月期2Q	7,133,791 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますので、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等が様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融政策や経済政策から株価回復が持続し、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。一方で、原材料価格の上昇や4月以降の消費税増税による個人消費への影響など、先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、低価格チェーンが苦戦するなど業態の選別が進んでおります。また、景気回復に伴い人手不足の傾向が強まっており、人件費の高騰が懸念されるなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、中長期計画の達成を目指して新規出店に注力し、11店舗を新規出店、5店舗をリニューアルオープンいたしました。平成26年3月には、居酒屋を中心とした飲食事業を展開するサンクスマインド株式会社を連結子会社化し、6店舗を取得いたしました。これらにより、平成26年8月末日現在の業態数及び店舗数は、53業態125店舗（国内124店舗、海外1店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,701百万円（前年同期比21.1%増）、営業利益は63百万円（前年同期は営業損失39百万円）、経常利益は52百万円（前年同期比16.3倍）、四半期純利益は6百万円（前年同期は四半期純損失14百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 飲食事業

新規出店に注力するとともに、サンクスマインド株式会社の連結子会社化により6店舗を取得いたしました。

新規出店におきましては、平成26年3月に、「舌一（タンピン）」（愛知県豊田市）及び「88 huituit（ユイトユイト）ららぼーとTOKYO-BAY」（千葉県船橋市）、4月に、「猿Cafe（サルカフェ）愛知学院大学名城公園キャンパス店」（名古屋市中村区）、「88 huituit 名駅店」（名古屋市中村区）、「The Oyster Bar Kobe（ザオイスターバーコウベ）」（神戸市中央区）及び「The Oyster Bar Shizuoka（ザオイスターバーシズオカ）」（静岡市葵区）、5月に、初のビアガーデン運営となる「静岡パルシェビアガーデン」（静岡市葵区）の出店に加え、「猿Cafe町田マルイ店」（東京都町田市）、「爽鶏屋（そうどりや）名駅三丁目」（名古屋市中村区）、「二六丸（ニロクマル）名駅店」（名古屋市中村区）、7月には、1年間期間限定の物産展型居酒屋「鹿児島うまかもん市場」（名古屋市中村区）をオープンいたしました。

また、既存店におきましては、「ガチ韓Lucent（ガチカンルーセント）」（名古屋市中村区）を「伊助（イスケ）」、「88 huituit 泥江町店」（名古屋市中村区）を「tantan（タンタン）」、「庵GURA（アグラ）金山店」（名古屋市中村区）を「爽鶏屋金山店」としてリニューアルオープンするなど、5店舗を改装いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は6,056百万円（前年同期比24.9%増）、営業利益は311百万円（同113.6%増）となりました。

#### ② ブライダル事業

「LUCENT Marriage Tower（ルーセントマリージュタワー）」が堅調に推移いたしました。また、「LA ETERNITA（ラ・エテルニータ）」について、下半期以降の挙式獲得に向け、平成26年8月下旬から9月上旬にかけて改装に着手いたしました。その結果、ブライダル事業における売上高は446百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は24百万円（同0.9%減）となりました。

#### ③ 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS（ジーセブン）刈谷」などの賃貸収入に加え、グループ会社間の賃貸収入が堅調に推移いたしました。その結果、不動産事業における売上高は842百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は77百万円（同12.9%増）となりました。

#### ④ その他の事業

広告代理業及び卸売業等のその他の事業における売上高は402百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益は24百万円（同13.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,854百万円（前連結会計年度末比1,148百万円増加）となり、負債は6,816百万円（同1,141百万円増加）、純資産は2,037百万円（同7百万円増加）となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ総額で492百万円増加し1,813百万円となりました。これは、現金及び預金が291百万円、売掛金が142百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ658百万円増加し7,033百万円となりました。これは、新規出店やリニューアル等の設備投資によって、有形固定資産が493百万円増加、差入保証金が136百万円増加したことなどが主な要因であります。

繰延資産につきましては、株式交付費の減少を主因に、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し7百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ879百万円増加し3,013百万円となりました。これは、買掛金が347百万円、1年内返済予定の長期借入金が198百万円、未払金が253百万円それぞれ増加したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ261百万円増加し3,803百万円となりました。これは、長期借入金が285百万円増加し、社債が23百万円減少したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7百万円増加し2,037百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が5百万円増加し、新株予約権を3百万円計上したことなどが主な要因であります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが799百万円（前年同期比62.5%増）の資金増、投資活動によるキャッシュ・フローが749百万円（同54.0%増）の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが240百万円（同66.1%減）の資金増となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は939百万円となり、前連結会計年度末の648百万円に比べ291百万円増加しております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は799百万円（前年同期比62.5%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を52百万円、非資金項目である減価償却費を409百万円計上し、仕入債務の増加額が331百万円あったことなどによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は749百万円（前年同期比54.0%増）となりました。これは主に、新規出店やリニューアル等に伴う有形固定資産の取得による支出が714百万円、差入保証金の差入による支出が46百万円あったことなどによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は240百万円（前年同期比66.1%減）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が810百万円あり、長期借入金の返済による支出が511百万円あったことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年4月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	708,393	999,533
売掛金	267,947	410,521
商品及び製品	4,882	229
原材料及び貯蔵品	75,322	89,560
その他	281,327	329,176
貸倒引当金	△16,126	△15,254
流動資産合計	1,321,747	1,813,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,004,053	3,253,720
土地	1,428,664	1,428,664
その他（純額）	522,857	766,339
有形固定資産合計	4,955,575	5,448,724
無形固定資産	31,764	58,410
投資その他の資産		
投資有価証券	8,220	8,230
差入保証金	1,147,130	1,283,879
その他	250,751	256,159
貸倒引当金	△17,776	△21,574
投資その他の資産合計	1,388,325	1,526,694
固定資産合計	6,375,666	7,033,829
繰延資産		
株式交付費	5,136	3,995
社債発行費	3,564	3,175
繰延資産合計	8,701	7,171
資産合計	7,706,114	8,854,768

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	264,746	611,935
1年内返済予定の長期借入金	818,402	1,017,344
1年内償還予定の社債	46,000	46,000
未払金	637,855	891,489
未払法人税等	50,645	46,393
賞与引当金	-	9,631
その他	316,355	390,456
流動負債合計	2,134,004	3,013,250
固定負債		
社債	184,000	161,000
長期借入金	3,012,886	3,298,370
資産除去債務	60,637	65,284
その他	284,168	279,026
固定負債合計	3,541,691	3,803,680
負債合計	5,675,696	6,816,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,068,969	1,068,969
資本剰余金	998,969	998,969
利益剰余金	64,781	63,754
自己株式	△76,000	△76,000
株主資本合計	2,056,719	2,055,692
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△26,300	△21,292
その他の包括利益累計額合計	△26,300	△21,292
新株予約権	-	3,438
純資産合計	2,030,418	2,037,837
負債純資産合計	7,706,114	8,854,768

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	5,532,491	6,701,406
売上原価	1,698,003	2,027,578
売上総利益	3,834,488	4,673,827
販売費及び一般管理費	3,874,230	4,610,719
営業利益又は営業損失(△)	△39,741	63,108
営業外収益		
受取利息	1,020	720
協賛金収入	47,137	31,351
設備賃貸料	2,011	2,875
為替差益	16,537	-
その他	12,883	6,206
営業外収益合計	79,591	41,154
営業外費用		
支払利息	31,429	32,926
為替差損	-	6,189
その他	5,168	12,156
営業外費用合計	36,597	51,271
経常利益	3,252	52,990
特別損失		
店舗閉鎖損失	8,299	918
特別損失合計	8,299	918
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,047	52,072
法人税等	9,878	45,103
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△14,925	6,969
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14,925	6,969

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△14,925	6,969
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△12,831	5,007
その他の包括利益合計	△12,831	5,007
四半期包括利益	△27,757	11,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,757	11,977

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,047	52,072
減価償却費	348,912	409,024
のれん償却額	589	4,305
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△21,139
受取利息及び受取配当金	△1,020	△720
支払利息	31,429	32,926
売上債権の増減額(△は増加)	△48,398	△136,201
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,727	△2,844
仕入債務の増減額(△は減少)	165,792	331,141
その他	51,118	213,084
小計	535,648	881,648
利息及び配当金の受取額	1,020	720
利息の支払額	△31,746	△32,031
法人税等の支払額	△12,665	△50,516
営業活動によるキャッシュ・フロー	492,256	799,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△420,239	△714,281
無形固定資産の取得による支出	△552	△3,395
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	5,446	4,186
差入保証金の回収による収入	26,269	12,172
差入保証金の差入による支出	△88,098	△46,734
貸付けによる支出	—	△3,950
その他	△9,541	2,375
投資活動によるキャッシュ・フロー	△486,716	△749,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△33,280	△698
長期借入れによる収入	630,000	810,000
長期借入金の返済による支出	△441,466	△511,641
リース債務の返済による支出	△21,852	△29,154
株式の発行による収入	599,875	—
社債の償還による支出	—	△23,000
新株予約権の発行による収入	—	3,438
株式の発行による支出	△6,849	—
配当金の支払額	△16,277	△7,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	710,149	240,947
現金及び現金同等物に係る換算差額	115	△8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	715,805	291,133
現金及び現金同等物の期首残高	365,830	648,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,081,636	939,241

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,803,264	451,580	97,088	5,351,933	180,558	5,532,491	—	5,532,491
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	44,780	—	666,923	711,704	249,282	960,986	△960,986	—
計	4,848,044	451,580	764,012	6,063,637	429,840	6,493,478	△960,986	5,532,491
セグメント利益又は損失(△)	145,946	24,245	68,401	238,593	21,397	259,991	△299,733	△39,741

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△299,733千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「飲食事業」セグメントにおいて、株式会社SARUの全株式を取得し子会社化したことにより、負ののれん1,831千円が発生しました。なお、当該事象は、当第2四半期連結累計期間において、発生益として営業外収益に計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成26年3月1日至平成26年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客 への売上高	6,006,193	446,925	98,670	6,551,788	149,617	6,701,406		6,701,406
(2) セグメン ト間の内部売 上高又は振替 高	50,733	—	744,276	795,010	252,571	1,047,581	△1,047,581	—
計	6,056,926	446,925	842,947	7,346,799	402,188	7,748,987	△1,047,581	6,701,406
セグメント利益	311,794	24,030	77,232	413,056	24,207	437,264	△374,156	63,108

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△374,156千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない  
全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「飲食事業」セグメントにおいて、サンクスマインド株式会社の全株式を取得し子会社化いたしました。当該事象により発生したのれんの金額は、当第2四半期連結累計期間においては、36,737千円であります。